

令和6年度 第14回「科学の甲子園神奈川県大会」実施要項

- 1 主 催 神奈川県教育委員会
- 2 後 援 横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、横須賀市教育委員会、一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会、神奈川県青少年科学体験活動推進協議会、神奈川県高等学校文化連盟自然科学専門部会、神奈川県高等学校教科研究会理科部会、神奈川県高等学校教科研究会数学部会、神奈川県高等学校教科研究会情報部会、横浜国立大学（申請手続き中）
- 3 目 的 高等学校及び中等教育学校後期課程の生徒に、科学に関する知識・技能を競い合う場を提供することで、科学に対する興味・関心を高め、理数系分野に対する学習意欲の一層の向上を図るとともに、毎年3月に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）により主催される「科学の甲子園全国大会」に出場する神奈川県代表チームの選考を行う。
- 4 日 程 令和6年12月8日（日）9時～17時（予定）
※ 筆記競技、実技競技ともに同日で行う。
- 5 会 場 神奈川県立総合教育センター 講堂及び各研修室
〒251-0871 神奈川県藤沢市善行7-1-1
（小田急江ノ島線 善行駅から徒歩8分）
- 6 参加資格 (1) 県内の高等学校の1、2学年（年次）に在籍する生徒及び中等教育学校後期課程の4、5学年（年次）に在籍する生徒とする。
(2) 出場チームは、1校1チームまで、1チーム6～8名の生徒で構成する。
- 7 競技方法 大会競技は、筆記競技と実技競技からなる。
 - (1) 筆記競技
理科（物理、化学、生物、地学）、数学、情報の中から、知識を問う問題及び知識の活用を問う問題で競うものとする。教科・科目を横断する複合的な問題を出題することもある。
 - (2) 実技競技
科学技術を総合的に活用し、ものづくりの能力、コミュニケーション能力等を用いて課題を解決する力を競うものとする。
 - (3) 競技の実施方法及び諸注意
 - ① 各競技とも、各出場チームから競技ごとに定められた複数人からなる競技チームを構成し、当該競技チーム内で担当する問題を分担、相談するなど協働して競技に取り組み、その成果を競い合うものとする。
 - ② 競技会場内へ持込可能な用具等は別途定め、各チームに事前に通知する。
 - ③ 競技会場内への図書、電卓及び情報機器の持込み並びに携帯電話・情報機器等によるインターネット接続及び外部との接触は禁止する。
 - ④ 競技中は引率責任者を含め、競技チームのメンバー以外の誰からもアドバイス等を受けることはできない。競技チームのメンバー以外からのアドバイス等を受けた場合には、失格とすることがある。
 - ⑤ 筆記競技は、1校の生徒6～8名でチームを構成し、チーム全員が協働して一つの解答を作成する。その際、同一チームのメンバー間で話し

合って解答してもよい。

- ⑥ 開会式の時点で参加メンバーが6名以上揃っていないチームについては、出場を認めない場合がある。
- ⑦ 参加チームが多い場合、筆記競技の点数により実技競技に進めるチームを絞る場合がある。

8 表彰 大会役員が筆記競技及び実技競技について厳正に審査を行い、その成績点数の合計によって総合順位を決定する。筆記競技、実技競技の各部門第1位及び総合順位の高い順に第1位（優勝）から第3位までを表彰し、賞状を授与する。

総合順位1位（優勝）のチームを令和7年3月に開催される「科学の甲子園全国大会」の神奈川県代表チームとして、国立研究開発法人科学技術振興機構へ推薦する。代表チームが全国大会への出場を辞退した場合には、別途、神奈川県大会の成績を基に代表チームを推薦することがある。

- 9 申込
- (1) 申込期限 令和6年8月30日（金）必着
 - (2) 申込方法 「第14回『科学の甲子園神奈川県大会』参加申込書（以下、「参加申込書」）」を電子メールにより送付
 - (3) 申込先 科学の甲子園神奈川県大会事務局 あて
koukou.kagaku.mm6y@pref.kanagawa.lg.jp
 - (4) その他 参加生徒の登録は、「参加申込書」の提出があった学校に後日送付する「参加者登録書」に必要事項を記入の上、競技当日に提出すること

10 参加料 無料

- 11 注意事項
- (1) 校長が認めた引率責任者の引率がないと競技に参加できない。
 - (2) 競技中に携帯電話等を使用することはできない。
 - (3) 大会の詳細については、「参加申込書」の提出のあった学校の担当者を通して連絡する。連絡にあたっては、（連絡先）電子メールを利用する。
 - (4) 主催者又は主催者の認めた報道機関等によって撮影された大会当日の様子を撮影した写真等は、新聞やホームページ等に掲載することがある。